

令和3年3月25日

令和2年度 南が丘小学校の年度末報告書

津市立南が丘小学校

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、例年のように報告会を開くのは適切でないと判断したため、昨年度と同様、ホームページにアップすることで年度末報告にかえさせていただきます。

本年度の学校教育目標 「ともに学ぶ楽しさを実感できる教育」

- 学びあい、ともに高まり合う教育
- 自分の気持ち・友だちの気持ちを大切にする教育
- 安全に気をつけ、命を大切にする教育
- 体力・気力を育む教育

具体的な行動計画

学校教育目標の実現に向け、11の具体的な行動計画を立てて取組を進めてきました。このうち1～8までを重点取組としました。

1 地域とともにある学校	2 小中一貫教育、保幼小の連携
3 英語科教育	4 授業研究推進
5 人権教育	6 特別支援教育
7 生徒指導	8 健康安全教育（安全・食・保健）
9 読書活動の推進	10 教育環境整備の推進
11 教職員の資質、チーム力向上	

学校運営協議会の役割

学校運営協議会は、学校経営方針の承認の他、学校への支援の在り方について協議を行いました。また、上記の8つの重点取組の進捗状況を校長が報告し、これらの取組が子どもの姿にどのように反映されたかを学校自己評価の考察をもとに協議しました。

学校自己評価

学校は、評価のための「めざす子どもの姿」を具体的に6つ示し、児童と教員がそれぞれ、前期（11月）・後期（2月）に1回ずつの評価を行いました。調査は6つの「めざす子どもの姿」に対して、それぞれ「よくできた」「できた」「あまりできなかった

た」「できなかった」の４段階で行いました。

結果は以下の表のとおりです。

▼表 教員の観察と児童質問紙による評価結果

めざす子どもの姿	教員、児童の評価結果の推移(前期⇒後期)
① 進んで学習に取り組む子	【教員】肯定的評価約59%⇒約88% 【児童】肯定的評価約87%⇒約90%
② 聴き合い伝え合える子	【教員】肯定的評価約53%⇒約66% 【児童】肯定的評価約94%⇒約93%
③ 進んであいさつをする子	【教員】肯定的評価約58%⇒約76% 【児童】肯定的評価約95%⇒約93%
④ 気持ちを考え行動できる子	【教員】肯定的評価約78%⇒約94% 【児童】肯定的評価約96%⇒約94%
⑤ きまりを守る子	【教員】肯定的評価約65%⇒約70% 【児童】肯定的評価約92%⇒約91%
⑥ ものを大切にする子	【教員】肯定的評価約73%⇒約74% 【児童】肯定的評価約94%⇒約94%

(注意)

- ・ 肯定的評価とは、４段階で「よくできた」「できた」を合わせたものをいいます。
- ・ %は小数点第１位を四捨五入したものです。

評価結果の特徴としては、後期評価では、全ての項目で教員の評価が上昇しましたが、教員評価と児童評価とに大きな差がみられることがわかりました。この教員評価と児童評価の差を埋める評価方法の取組や「聴き合い伝え合える子」「きまりを守る子」への教員の取組が今後も必要と思われます。

この結果について、学校運営協議会からも、

- ・ 子どもの自己肯定感は高いと思われる
- ・ スケールを細分化してはどうか 等の意見が出されました。

これらの意見を参考に、学校自己評価の方法や内容等を検討し、今後も子どもたちの成長を見つめ、「めざす子どもの姿」に迫っていきたいと思います。

学校教育活動（津市、学校支援委員会による支援を含む）

本年度は、新型コロナウイルスの影響で、例年実施している「夏休み教室」や「夏まつり」、「子どもといっしょにお昼ごはん」等の活動が中止となりました。

このような状況の中、津市や学校支援委員会の支援を得ながら、可能な学校教育活動を模索してきました。

8つの重点取組に関する主な活動を写真で紹介します。

▼地域とともにある学校

「冬休みケーキ作り」教室（12月）

地域の方を講師に、親子で絵本にある「ぐりとぐらのケーキ」作りをしました。感染症予防のため、1回あたり14組の親子に限定し、2日間で計4回の教室でした。地域の方に「ぐりとぐら」の絵本の読み聞かせもしていただきました。



▼小中一貫教育、保幼小の連携

「なかよくあそぼう会」（2月）

1年生が近隣の認定こども園、保育園の園児と活動しました。例年は、ふれあいホールに全園児参加を招いて行われていましたが、今年は少人数に分け、1年生の教室開催でした。児童は園児を前に学習や生活の様子を披露しました。



▼英語科教育・授業研究推進

「教育課程特例校」「特色ある学校プロジェクト事業」（12月と3月）

本校は、文部科学省の教育課程特例校として1年生から英語科に取り組んでいます。校内にも英語授業を研究推進する組織が設けられていますが、今年は、公開授業研究会を持つことができなかったため、代わりに新学習指導要領による評価方法を研究するため、講演会と研修会の機会を設けました。津市の特色ある学校プロジェクト事業を活用して、皇學館大学の教授を招いて講演会を12月に、表現力を評価するパフォーマンス・テストの授業研修会を3月に持ちました。



▼人権教育

「南が丘地区人権集会」(12月)
南が丘中学校の体育館に、伊賀市より助産師さんを講師に招き、6年生が中学生と一緒に命の尊さについて学びました。



▼特別支援教育

「小中交流会」(1月)
小中一貫の取組として、特別支援学級の児童と生徒が南が丘中学校で光る墨での習字に取り組みました。



▼生徒指導

「小中合同あいさつ運動」(2月)
登校時に合わせて、生活委員会の児童がルーテル二葉認定こども園の前で中学生と一緒にあいさつ運動を行いました。



▼健康安全教育(安全・食・保健)

「感謝集会」(12月)
安全パトロールの会のボランティアの皆さんに音楽委員会が演奏を披露するとともに、児童代表が花束を贈呈しました。



ここに紹介したのは、多くの取組の一部です。他にもさまざまな場面でサポートしてくださったボランティアの皆様をはじめ保護者・地域の皆様のご理解とご協力に、心より感謝いたします。来年度は、さまざまな活動がもとどおりに実施できるよう期待しています。来年度もよろしくお願いいたします。